

卒業研究報告書の作成方法

0 番 情報 太郎

目次	ページ
はじめに	3
第 1 章 論文構成	4
1.1 構成順序	4
第 2 章 書式概要	5
2.1 用紙	5
2.2 余白	5
2.3 使用文字	5
2.4 ページ番号	5
2.5 数式，図，表などの配置	5
2.6 その他	6
おわりに	8
参考文献	9

はじめに

この文書は、卒業研究報告書の書式(第 1.0 版)を説明するものである。卒業研究報告書を統一した書式で作成することを目的としている。

第 1 章 報告書の構成

1.1 構成順序

表紙，目次，報告書本文(以下、「本文」と略する)の構成とする．

1.1.1 表紙

論文名，出席番号，氏名を記載する．

1.1.2 目次

本文の構成に従って目次を作成する．

1.1.3 本文

本文は章で構成される．各章ごとに関連する内容の記述をおこなっていく．ただし，序文(「はじめに」など研究目的などを記述する)や結文(「おわりに」などのまとめを記述する)，謝辞，参考文献などは章としない．

第 2 章 書式概要

2.1 用紙

A4 判を縦に用いて，横書きにする．

2.2 余白

用紙の余白は，以下に示す通りである．

- ・ 上余白 20mm
- ・ 下余白 20mm
- ・ 左余白 25mm
- ・ 右余白 25mm

これらの余白から読みやすさなどの点を考慮すると，本文の一行あたりの文字数は 40 字 (全角文字換算)程度が適当である．また，行数は 40 行が適当である．

2.3 使用文字

使用する文字の大きさは，以下の表の通りである．また，アルファベットや数字などは半角文字が望ましい．まる“。”と点“、”は用いず，ピリオド“.”とカンマ“,”を用いる．

表 2-1 文字の大きさ

表紙	表題 32 or 36 ポイント(ゴシック体) 出席番号，氏名 24 ポイント(ゴシック体)
目次	16 ポイント(ゴシック体)
章見出し	16 ポイント(ゴシック体)
本文	12 ポイント(明朝体)

2.4 ページ番号

本ページのように用紙の下中央に，表紙から順に“1”，“2”，...とする．

2.5 数式，図，表などの配置，番号のふり方

数式，図(画像を含む)，表などの表示は中央揃えとし，複数枚配置する場合には，横並べにするなど見苦しくならないように工夫すること．ただし，ページ全体の図，表や，すべてのプログラムリストの掲載などの記載は禁ずる．数式，図の例をそれぞれ式(2.1)，図 2-1，図 2-2 に示す．また，表については表 2-1 を参考にしてほしい．

$$\frac{\partial \bar{p}}{\partial \xi_i} = -K_i u_i \quad (i = r, \theta, z) \quad (2.1)$$

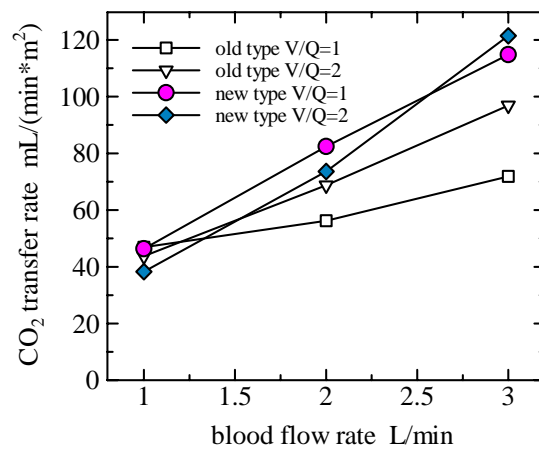


図 2-1 炭酸ガス移動量の比較



図 2-2 Palm Top PC 110

数式，図，表などの番号のふり方は，数式は表示式の後方に，

(章番号・各章の式の順番号(1からの昇順(以下同様)))

と記述し，図，表は図表見出しの前に，

図(または表)章番号-各章の図(または表)の順番号 図(または表)見出し

とする.表 2-1 , (2.1) , 図 2-1 などを参照してほしい.

2.6 その他

適宜改行を行い,表紙,目次,章などの終わりには改ページを行うこととする.

章などの構成は適切に設けること(本文を参考としてほしい.).章などの表紙は不要とする.

目次は章見出しと節(1.1 などと表示している)とし,節は X.Y までの表示とする.2 ページを参照してほしい.

印刷は,両面印刷とする.

本文で 50 ページ以上作成することとする(表示,目次は本文には含まれない.).

おわりに

卒業研究報告書は読む人の立場にたって，説明などを分かりやすく工夫して欲しい．研究した内容を人に説明することは，社会では非常に重要なことである．この機会を有効に役立てて欲しい．

参考文献

著「卒業研究報告書の書き方」(出版)
卒業研究報告書の書き方 <http://www.XXXXXXXXX.co.jp/ZZZZZ>